ALINCO

アルミ合金製 CSD型作業台用手すりセット

組立説明書

このたびはＣＳＤ型作業台用手すりセットをお買い上げいただきましてありがとうございます。この手すりセットを安全に使っていただくために、注意事項をよくお読みいただき手順に従って組み立ててください。

※組立て前に、部品数量を確認してください。 必要工具 Ｍ６用スパナ・十字ドライバー

⚠危険 「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。

●設置するときや持ち運ぶときは、配電線に注意してください。

⚠警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

●組み立てる時はボルトを確実に固定してください。
●使用前にはボルトのゆるみや抜け落ちを確認し、ある場合は締め直してください。
●使用前に必ず点検し、異常のない事を確認してください。
●手すりから身体を乗り出さないでください。
●手すりへ寄りかかったり、足をのせたりしないでください。
●手すりを押したり、引いたりしないでください。
●適応機種以外に取り付けて使用しないでください。
●加工・改造をしないでください。
●CSDの取扱説明書もあわせてお読みください。
●天板高さが２m以上の作業台には、必ず手すりを付けて使用してください。

⚠注意 「軽傷を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

●使用に適した服装で使用してください。
●雨や直射日光があたらない場所に保管してください。

アルインコ株式会社
〒569-8510 大阪府高槻市三島江1-1-1
お客様相談室 0120-302-669
10:00～16:00 ただし12:00～13:00及び土･日･祝を除く

2016051-FS

部品表

部品名	品番	部品図	フル手すり			正面付片手すり(L)		正面付片手すり(R)		片手すり(L)		片手すり(R)		3方手すり	片側開口手すり(L)		片側開口手すり(R)	
適応機種			100/125	150/175	200/225	100/125	150/175	100/125	150/175	100/125	150/175	100/125	150/175	—	100/125	150/175	100/125	150/175
側面手すり(L)	CSDYTL	ブラケット	1			1		—		1		—		1	—		1	
側面手すり(R)	CSDYTR	ブラケット	1			—		1		—		1		1	1		—	
背面手すり	CSDHT	ピン、操作レバー	1			1		1		—		—		1	1		1	
昇降手すり(小)	CSDKTS	ブラケット	2	–	2	1	–	1	–	1	–	1	–	—	2	–	2	–
昇降手すり(大)	CSDKTL	ブラケット	–	2	2	–	1	–	1	–	1	–	1	—	–	2	–	2
手すり柱	CSDST	ブラケット	—			1		1		—		—		—	1		1	
背面幅木	CSDHB	ノブボルトM6×20 ×2	1			1		1		—		—		1	1		1	

※１ 昇降手すり（大）、（小）、手すり柱は出荷時には作業台の昇降面の向かって左側に取り付けられるようにブラケットが取り付けてありますので、右側に取り付ける場合は下記の手順にしたがってブラケットの向きを変更してください。

※２ ブラケットには工場出荷時に六角ボルトM6×20（ばね座金平座金付）が取り付けられています。下記の手順に従って、取り外して使用してください。

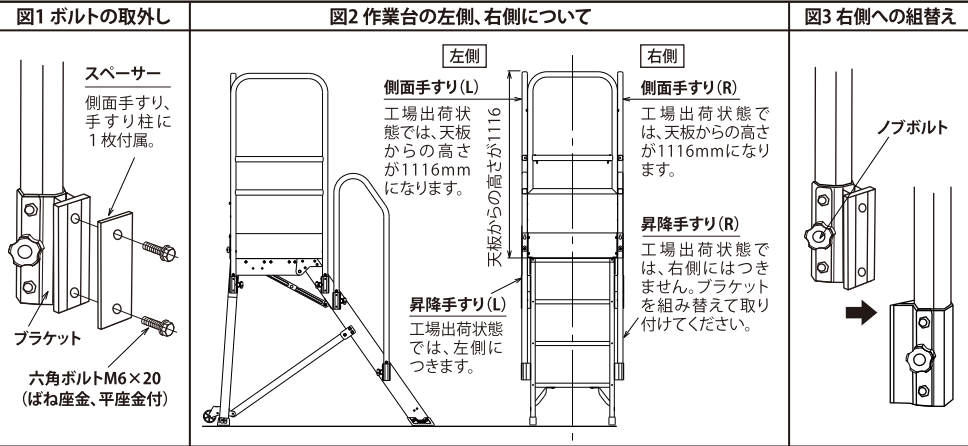
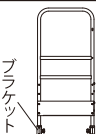
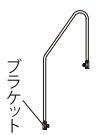
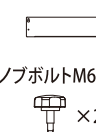
※３ 側面手すり（Ｌ）、（Ｒ）、手すり柱は作業台の天板からの高さ1116mm、916mmと、とちらかをお選びいただけますが、出荷時には1116mmになるようブラケットが取り付けてあります。916mmにする場合は下記の手順に従って変更してください。

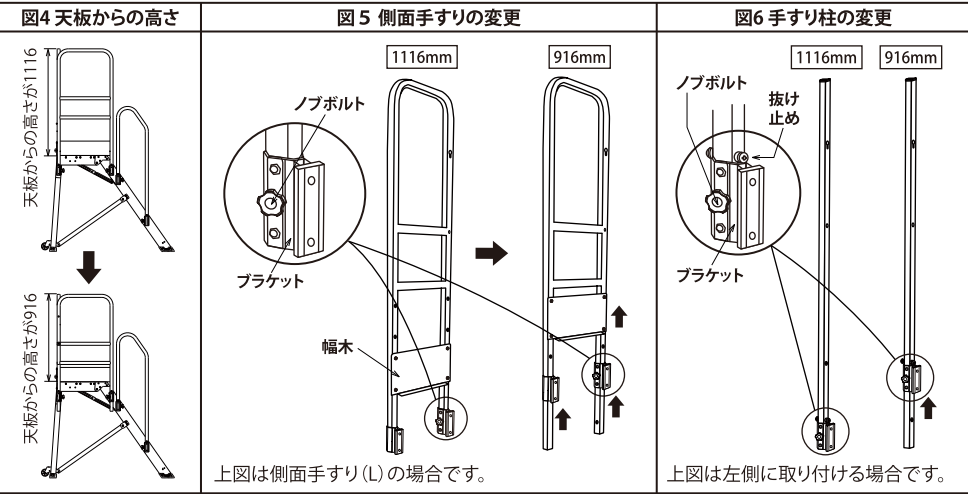
作業台本体取付けの準備について

❶ボルトの取外しについて（ブラケット付きの部品について　図１）

ブラケットから、六角ボルトM6×20（ばね座金、平座金付）を取り外してください。作業台本体への取付けにはこのボルトを使用します。なお、昇降手すり（L）、（R）、手すり柱には、スペーサーも一枚付属しております。同じく本体取付けに使用しますのでなくさないようにしてください。

❷右側取付け時のブラケットの組換えについて(図2、3)

昇降手すり(大)、(小）および手すり柱は工場出荷時には作業台の左側につくように設定されています。（作業台の左側、右側の識別については図2を参照してください。）右側に取り付ける場合には、ノブボルトをまわしてブラケットを取り外し、右側に取り付けられるようブラケットを組み換えてください。（図3）
加えて天板からの高さも916mmに変える場合は次の❸の項目もあわせてお読みください。なお側面手すり（L）は左側取付け専用部材、同じく（R)は右側取り付け専用部材となり、ブラケットの組換えは行いませんのでご注意ください。

❸側面手すり（L）、（R）、および手すり柱の天板からの高さを、1116mmから916mmにするときについて

側面手すりはブラケットと幅木を、手すり柱はブラケットと抜け止め2箇所を取り外し、下図のように上に移動させて取り付けてください。ブラケットはノブボルトをまわすと外れます。抜け止めの取外しには十字ドライバーを使用してください。

※手がかり棒は手すり取付けのときには使用しません。取り外しておいてください。

フル手すりセット

※組立てのポイント：作業台本体に手すりを一旦仮組みしてから本締めを行ってください。

正面付片手すりセット

※組立てのポイント：作業台本体に手すりを一旦仮組みしてから本締めを行ってください。

片手すりセット

※組立てのポイント：作業台本体に手すりを一旦仮組みしてから本締めを行ってください。

三方手すりセット

※組立てのポイント：作業台本体に手すりを一旦仮組みしてから本締めを行ってください。

片側開口手すりセット

※組立てのポイント：作業台本体に手すりを一旦仮組みしてから本締めを行ってください。